

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

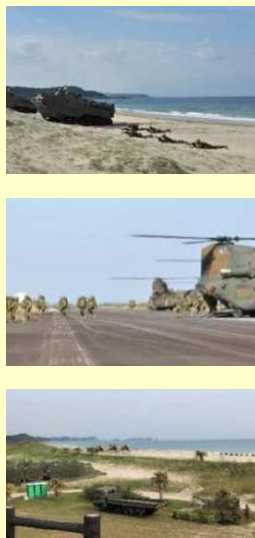
令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

2

空挺作戦



水陸両用作戦



統合防空ミサイル防衛訓練



統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)の 北海道における訓練について

3

本演習において北海道内で実施する訓練は、

- ① 航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練)
千歳基地、奥尻分屯基地
- ② 統合後方運用(物資輸送訓練)
苫小牧港、留萌港
- ③ 統合電磁波作戦訓練
留萌駐屯地、静内駐屯地

を予定しています。

訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

北海道内で実施を検討している訓練内容

4

①航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練)

陸上自衛隊の高射特科部隊、海上自衛隊のイージス艦、航空自衛隊の戦闘機部隊等が北海道・東北沖等で実施される統合防空ミサイル防衛及び統合対艦攻撃訓練に参加し、それぞれの対処要領について演練します。併せて、航空自衛隊の基地が使用できない事態を想定し、戦闘機等が八戸航空基地に、一時的に展開する訓練を計画しています。

【期 間】令和7年10月20日(月)～31日(金)(前後に準備・撤収期間を数日間設定)

【参加部隊】陸上自衛隊:高射特科部隊等 海上自衛隊:イージス艦 航空自衛隊:航空部隊、高射部隊、警戒管制部隊

訓練予定場所

※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

奥尻分屯基地

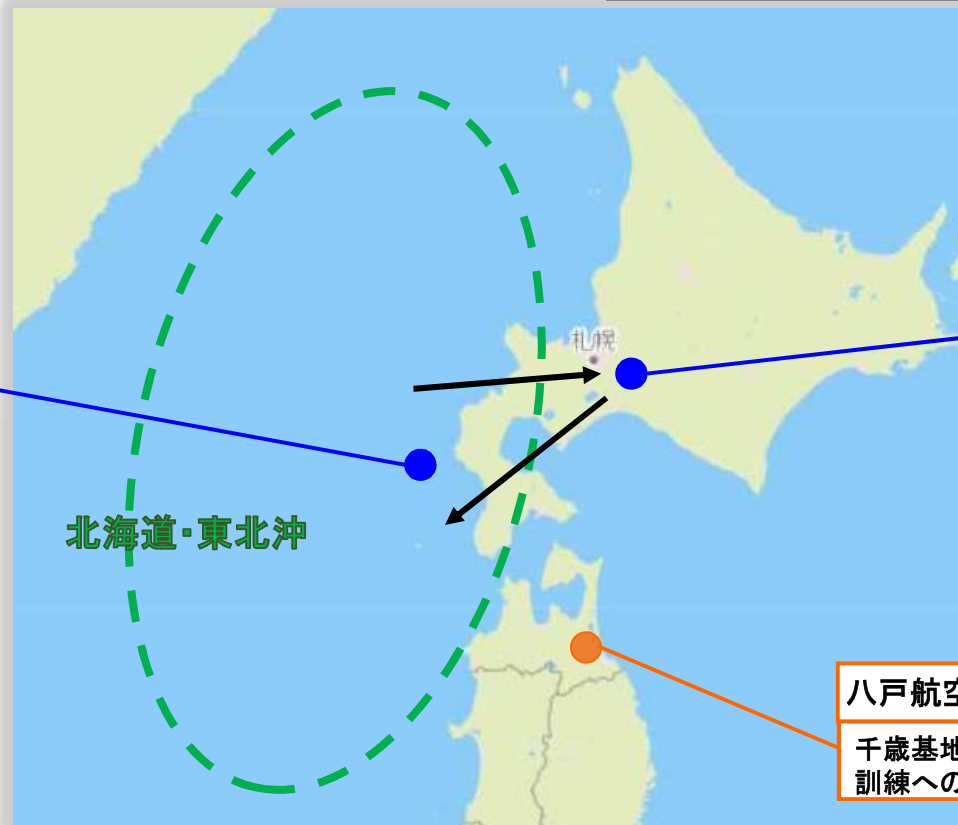


陸自: 高射特科部隊
空自: 高射部隊

北海道・東北沖



イージス艦×1艇(基準)



千歳基地



F-15×16機(基準)
(石川県・小松基地からの
展開機を含む。)



C-130H又はC-2輸送機

八戸航空基地

千歳基地から海自八戸航空基地への展開及び
訓練への参加の可能性あり。現在調整中

北海道内で実施を検討している訓練内容

②統合後方運用(物資輸送訓練)

民間船舶(定期船フェリー)で北海道から鹿児島県奄美大島までの機動訓練を実施します。その際、陸自の第1特科団(北部方面隊)が苫小牧港(北海道)から名瀬港(鹿児島県)まで、搜索レーダの海上輸送、機動訓練を実施します。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月31日(金)

【参加部隊】陸上自衛隊:北部方面隊(第1特科団の一部の部隊)(約40名)

【輸送装備品等】陸自:搜索標定レーダ装置(SRU)

【実施地域】苫小牧港、名古屋港、大阪港、志布志港、名瀬港

訓練予定場所



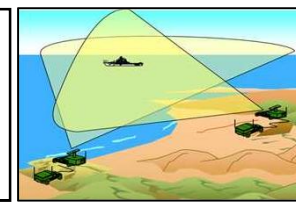
訓練イメージ



機動訓練



搜索標定レーダ装置



搜索・標定

- ① 苫小牧港から複数の港を経由し、奄美大島へ機動
(人員約40名、搜索標定レーダ装置×2機等)
- ② 奄美大島到着後、海上に対する搜索・標定訓練を実施
- ③ 訓練終了後、名瀬港から複数の港を経由し、苫小牧港へ帰隊

北海道内で実施を検討している訓練内容

②統合後方運用(物資輸送訓練)

PFI船舶で北海道から各港湾を經由して、沖縄県まで部隊・装備品を輸送する訓練を実施します。

【期 間】令和7年10月14日(火)～10月31日(金)(訓練運用上、準備のため苫小牧港を訓練期間前に使用します。)

※上記日程のうち、部隊及び装備品を民間船舶に搭載・卸下するため、下図に示す6港を使用。

【参加部隊】陸上自衛隊:北部方面輸送隊

航空自衛隊:第9高射隊、第2基地防空隊

【使用装備品】陸 自:役務トレーラー 空自:81式短距離地对空誘導弾、地对空誘導弾(発射機)等

その他:PFI船舶(はくおう及びナッチャンWorld)

【実施地域】苫小牧港

訓練予定場所



※ 中城湾港の後、平良港及び石垣港へ輸送します。

訓練イメージ



【PFI船舶: はくおう】

・苫小牧港及び蒲郡港において、空自部隊(第2航空団)及び装備品(81式短距離地对空誘導弾、射撃搭載装置等)を搭載し、鹿児島港及び中城湾港まで輸送する訓練を実施します。

【PFI船舶: ナッチャンWorld】

・苫小牧港において、空自部隊(第9高射隊)及び装備品(役務トレーラー(実弾あり)、地对空誘導弾(発射機)、各種車両等)を搭載し、大分港及び伊延港まで輸送する訓練を実施します。

北海道内で実施を検討している訓練内容

②統合後方運用(物資輸送訓練)

民間船舶で装備品及び弾薬(実弾)を輸送する訓練を実施します。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月21日(火)

【参加部隊】陸上自衛隊:第2地对艦ミサイル連隊(約10名)、北部方面輸送隊

その他 : 民間船舶(壱岐対馬フェリー)

【使用装備品】陸自:88式地对艦誘導弾、73式特大型セミトレーラー

【実施地域】北海道

訓練予定場所



訓練イメージ

壱岐対馬フェリー



陸自: 88式地对艦誘導弾



・留萌港において民間船舶(壱岐対馬フェリー)に部隊(第2地对艦ミサイル連隊、北部方面輸送隊)及び装備品(88式地对艦誘導弾、73式特大型セミトレーラー(実弾あり))を搭載し、同装備品(実弾含む)を輸送する訓練を実施します。

・輸送された陸自部隊は苫小牧港に到着後、陸路にて所在駐屯地に帰隊します。

北海道内で実施を検討している訓練内容

③統合電磁波作戦訓練

統合電磁波作戦訓練は、統合防空ミサイル防衛訓練に連携して行われます。
本訓練のため、陸上自衛隊の電子戦部隊が陸上自衛隊留萌駐屯地及び陸上自衛隊静内駐屯地に展開し、電波状況の確認等を実施します。
なお、本訓練では実際に電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月29日(水)

【参加部隊】陸上自衛隊留萌駐屯地 陸上総隊:約10名(車両(NEWSを含む。)×2両)

陸上自衛隊静内駐屯地 陸上総隊:約10名(車両(NEWSを含む。)×2両) (機動展開)

訓練予定場所 (北海道)



展開する主要装備品



陸上自衛隊 NEWS※

※ NEWS:Network Electric warfare System(ネットワーク電子戦システム)
電波の収集及び相手の指揮通信の無効化(低下)等を実施